



# つやざきっず

学力テスト結果報告 特別号  
 令和7年10月16日  
 福津市立津屋崎小学校  
 校長 西田 剛信

## 全国学力・学習状況調査，福岡県学力調査の結果について

令和7年度の全国学力・学習状況調査（4月実施，国語・算数・理科，6年生対象）と福岡県学力調査（6月実施，国語・算数，5年生対象）の結果が届きました。福津市教育委員会の方針に基づき，本校の結果についてお知らせします。なお，本調査結果がすべての学力を表しているのではなく，特定の一部であることを申し添えます。

### 全国学力・学習状況調査の平均正答率，児童質問紙の結果等の比較(6年生対象)

各教科				児童質問紙(%)					
平均正答率	国語	算数	理科	自分にはよい所がある	夢や目標をもっている	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	平日の家庭学習は1時間以上勉強している	人の役に立つ人間になりたいと思う	地域や社会をよりにくするために何かしてみたい
津屋崎小	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ	やや上回っている	やや上回っている	ほぼ同じ	上回っている	ほぼ同じ	ほぼ同じ
福岡県	102.1	98.9	99.8	86.4	83.2	97.3	41.1	96.6	81.8
全国	100	100	100	86.9	83.1	97.2	47.1	96.4	81.3

【表1 各教科】

【表2 児童質問紙】

【表1】は，全国の平均正答率を100として相対的に比較したものです。国語・算数ともに，全国平均とほぼ同じです。国語では，「思考・判断・表現」，算数・理科では，「知識・技能」を問う問題に課題があり，特に，国語では，目的に応じて，文章と図表などを結び付けたり，時間的な順序や事柄の順序などを考えたりしながら答える問題に課題があり，算数では，「数直線上に示された数を目盛りに着目して答える」問題，理科では，科学の基本的な概念等の知識を問う問題にそれぞれ課題があります。下支えとなる基礎基本の定着を一層図りつつ，いわゆる「非認知的能力」と言われる，子どもたちの「ねばり強く挑む力」や「自己有用感・自己効力感」などを含む「学びに向かう力」等を今後も継続して大切にしていきます。

【表2】右の表の児童質問紙は，肯定的回答の合計を比較したもので，福津市のめざす子ども像に合う，6つの項目について報告します。全質問項目において，全国や県平均以上の結果となっています。特に「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」に関しては，肯定的な回答が100%でした。このことから，「ウェルビーイングな つやざきっず」を合言葉に，教職員のみならず，地域コーディネーターや学校，地域，家庭が連携し，協働して取り組んできたことが一定の成果となって表れていることがわかります。

## 福岡県学力調査 平均正答率等の比較(5年生対象)

平均正答率	国語	算数
津屋崎小	やや下回っている	やや下回っている
福津市	107	105.6
福岡県	100	100

左の表は、福岡県の平均正答率を100として相対的に比較したものです。国語・算数ともに、県平均と比べてやや下回っています。いずれも、「思考・判断・表現」を問う問題に課題があり、特に国語では、要点を理解しながら発表のかけている部分を尋ねること、算数では、2

つの折れ線グラフを対比させ、グラフの特徴や傾向について考察することなどに課題があります。基礎・基本の定着を一層図るとともに、算数や国語の学びを社会や総合的な学習の時間等の他教科（領域）との関連を図り、それぞれの学びを充実させていきます。

### 今後の改善の取組

#### ○ 主体的に学ぶことができる授業の充実

自分で課題を見いだしたり、複数の課題から選択・自己決定したりするなど、自分自身で考え、判断し、行動できるような場面を授業に位置づけ、自己の学びを自ら調整していきけるような学習となるよう改善していきます。特に、「やってみたい!」「できるようになりなりたい!」など、学びへの期待を高める授業の導入場面を中心に工夫を行っていきます。また、デジタルツール等を活用し、説明したりプレゼンテーションしたりするような学習をより一層展開し、さらに子どもが夢中になる授業、深く探究する授業へと充実させていきます。

#### ○ 子どもに基礎基本の定着を図る取り組みの充実

基礎基本の定着に関しても、授業内だけではなく、子どもの思考に働きかける教室環境の整備やブロッコタイム等、学校教育全体を通じて取り組みを行っていきます。毎年実施しているブロッコタイム（保護者ボランティアと協働で基礎基本的な内容の習熟を図る学習）では、学年ごとに必要なタイミングで必要な内容を定着できるようにしていきます。

#### ○ 「ふるさと学習」の充実

津屋崎小校区は、「ふるさと学習」の素材の宝庫です。魅力ある「ひと・もの・こと」にあふれています。今後も更に、地域コーディネーターや学校、地域、家庭が連携し、協働して取り組んでいくことで、自己有用感や地域への愛着、参画意識が高まると考えます。

